

# 〔障害児教育部ニュース 2019〕 2

## 1. 参議院文教科学委員会で重複学級について質問

5月21日、参議院文教科学委員会で山下芳生議員（日本共産党）が特別支援学校の重複学級について質問しました。東京都が重複障害児を違法に少なく算定していると、独自の調査をもとに告発しました。柴山文科大臣は「重複障害の児童生徒を単一障害と認定し、必要な支援が行われない場合があるとすると問題」と答えています。

質問の最後では、強度行動障害の子どもたちについても対応を求めています。

国会中継のページで見ることができます。

## 2. 「児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」が出ています

3月29日付で「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」が出ています。1月21日に「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」をうけての具体的な対応を示す通知です。

「報告」には、「知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科においても、文章による記述という考え方を維持しつつ、観点別の学習状況を踏まえた評価を取り入れることとする」と書かれています。

「通知」には、指導要録の記入について「特別支援学校（知的障害）各教科については、特別支援学校の新学習指導要領において、小・中・高等学校等との学びの連続性を重視する観点から小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す資質・能力の三つの柱で目標及び内容が整理されたことを踏まえ、その学習評価においても観点別学習状況を踏まえて文章記述を行うこととしたこと」と書かれています。

今後、子どもや集団の実態を無視した、「三つの柱」の観点での評価の押し付けが強まる可能性があり、注意が必要です。

「育成を目指す三つの柱」（文科省 HP より）

- 1) 「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）」
- 2) 「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」
- 3) 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」

\* 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」 「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」は文科省 HP から見ることができます。

## 3. 特別支援学校高等部改訂学習指導要領 職場討議資料ができました

2月4日に告示された特別支援学校高等部の改訂学習指導要領の職場討議資料ができました。各職場・各組織の学習会などでご活用ください。詳細はお問い合わせください。

## 4. 『クレスコ』6月号「権利としての障害児教育 ～すべての子どもたちに豊かな学びを」

・今年には養護学校義務制から40年ということで、障害児教育特集号です。

竹沢清さんの「総論」からも、各分野の「実践」からも、たくさんの方が学べます。

特集以外のページにも、障害児教育からの報告が盛りだくさんで、一冊丸ごと障害児教育の『クレスコ』になっています。ぜひ、学習や仲間づくりにご活用ください。